

北海道の歴史発見プロジェクト

6年生の「北海道歴史発見プロジェクト」の学習活動が本格化してきました。7月の「常呂みどりの学校」まで、教科等横断的な視点でカリキュラムを組み、探究のサイクルを回しながら子供たちの学習の基盤となる力を育みながら学習できるよう工夫しています。



北斗遺跡見学

13日に1組が、14日に2組が北斗遺跡の施設を見学しました。社会や理科の学習内容について、自分の地域の具体的な資料や遺跡を見学して、歴史をより身近に感じたようです。

竪穴式住居跡群を見て「こんなに近くでたくさん住居跡がある!」、復元住居を見て「けっこう広いよ!」と驚きの声を上げていました。

また、子供たちの興味を引いたのは、黒曜石でした。さすが石博士の学習をしたあとだけあります。石器を見たり、外の砂利から黒曜石を探したり。帰るまで、夢中になって見学していました。



釧路市立博物館見学

15日には市立博物館を見学しました。学芸員の澤田さんに連日ご説明いただき、たくさんの埋蔵文化財を見比べたり、触ったりすることができました。

このあと、自分たちで土器を作る学習活動も控えているため、模様の付け方やデザインを見比べるようにじっくり観察する子もいれば、自分の住んでいる場所に近いところで出土された土器を探す子もいました。

普段、来たことがある博物館も、学芸員の澤田さんの解説を受けた後だと、新しい視点で見ることができたようで、「感動したよ!」「土曜日にもう1回来る!」と教えてくれました。



土器作りを前に、図工の山下先生が、大学から土粘土を借りてきて、6年生と造形にチャレンジ!